

第52回 苫小牧地区会長杯争奪サッカー大会（高校の部）  
兼 平成30年度 苫小牧地区高等学校サッカー春季大会

開 催 要 項

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース（18歳以下）年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 第52回苫小牧地区会長杯争奪サッカー大会（高校の部）兼平成30年度苫小牧地区高等学校サッカー春季大会
- 3 主 催 苫小牧地区サッカー協会、高体連室蘭支部
- 4 主 管 苫小牧地区サッカー協会2種委員会
- 5 期 日 平成30年4月21日（土）、22日（日）、28日（土）、29日（日）
- 6 会 場 苫小牧緑ヶ丘公園サッカー場、苫小牧駒澤大学グラウンド  
北海道苫小牧東高等学校グラウンド
- 7 参加資格 (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。  
(2) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。  
(3) 平成30年度（公財）日本サッカー協会に登録を完了した者とする。  
(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入、または加入の意志のある者。  
(5) 平成11（1999）年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。（「出場」とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさす。）  
(6) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。  
(7) 部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(8) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(9) ①転校後6カ月未満の者（大会初日起算）は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、年度をまたぐ場合、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。  
②転校を伴わなくても、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記①に準じるものとする。ただし、この規定②の適用は当該年度内に限るものとする。  
(10) 登録選手は、（公財）日本サッカー協会発行の選手証（写真貼付）を所持すること。ただし、電子登録証（写真登録済）が確認出来る場合は出場を認める。  
(11) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。  
(12) 参加資格の特例  
①上記（1）、（2）に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。  
②上記（5）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出

場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

【大会参加資格の別途定める規定】

1 学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高等専門学校、第124条の専修学校、第134条の各種学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

- ①全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- ②参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混合は認めない。
- ③各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

- ①大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
- ②大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

8 チーム編成

- (1) チーム編成は、引率責任者1名・監督1名・マネージャー(2名)及び選手(20名以内)とする。
- (2) 外国人留学生のエントリー数は、4名以内とする。そのうち、試合に出場することができるのは2名以内とする。

9 競技規則

- (1) 本年度(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
- (2) 試合開始前に、選手と9名以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち4名まで主審の許可を得て交代することができる。
- (3) 本大会において、退場を命じられた競技者は、大会を問わず次の公式試合1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (4) 本大会期間中、警告を2回受けた競技者は、次の1試合に出場できない。
- (5) ユニフォームについて
  - ①シャツの前面・背面に参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。ショーツの番号については付けることが望ましい。(番号は1番から20番までの番号とする。)
  - ②正副2着を必ず携行すること。(副はシャツ、ショーツ、ストッキングそれぞれ正と明瞭に区別された異色のものであること)
  - ③縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台地を付けるものとする。
  - ④チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判断し得るものでなければならない。

⑤参加申込以降のユニフォームの変更は認めない。なお、番号の変更も認めない。

- 10 競技方法 (1) トーナメント方式により、優勝、準優勝を決定する。  
(2) 試合時間は70分（ハーフタイムのインターバルは10分）とし、勝敗が決しない場合は、ペナルティマークからのキックにより勝敗を決定する。  
(3) 決勝戦において、70分で勝敗が決しない場合は20分（10分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティマークからのキックにより勝敗を決定する。
- 11 引率責任者および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。
- 12 参加申込 ※個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
- (1) 申込方法 大会参加申込書に必要事項を記入して、e-mailもしくは郵送で下記に送付する。
- (2) 申込先 〒057-0006 北海道浦河郡浦河町東町かしわ1丁目5-1  
北海道浦河高等学校 舟田 彩一郎 宛  
TEL: 0146-22-3041  
FAX: 0146-22-2814  
e-mail: s-funada@hokkaido-c.ed.jp
- (3) 申込締切期日 平成30年4月4日（水）必着（FAX・メールでの仮申込可）
- 13 参加料 1チームにつき10,000円とする。監督会議の当日持参し、会議前に受付で納入する。  
（審判付帯同チームは付帯同審判料5,000円をあわせて納入）
- 14 監督会議 (1) 日時 平成30年4月8日（日）15時～  
(2) 場所 北海道静内高等学校 会議室
- 15 組合抽選会 監督会議で抽選を行う。ただし、別途申し合わせに従いシードチームを決定する。それ以外はフリー抽選とし、申込受付順に予備抽選を行い、その順番に従い本抽選を実施する。
- 16 その他 (1) 出場校は、必ず引率教員によって引率され、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。  
(2) 試合開始60分前に、会場本部にてオーダー用紙の提出、ユニフォームチェックを行う。ただし、試合が連続する場合は前の試合のハーフタイムに行う。  
(2) 各チームベンチには、オーダー用紙に記載された者以外入ることができない。  
（交代要員9名とスタッフ5名（どちらも最大数）がベンチ入りできる。）  
(3) 試合球は各チーム持ち寄りとする。ボールはモルテン社製「ペレーダF5P4000」とする。  
(4) 荒天・震災・雷、その他不測の事態で競技に影響がある場合は、大会本部において協議の上対処する。中断・中止・延期のあることを留意のこと。  
(5) 今大会の結果は、高体連室蘭支部大会のシード決めに反映される。